

ふしょうっこ日記

令和7年9月24日

「4 年社会科 防災倉庫の見学」

4 年生は、社会科で「自然災害から人々を守る」という学習をしています。自然災害について知り、自然災害から命を守るために人々が行っている活動や対策を学び、さらに自分たちが住む地域で起こるかもしれない自然災害に備えて、自分たちにできることを考えます。

その学習の中で、今日は、学校にある「防災倉庫」を見学しました。本校の防災倉庫は、小学校の駐車場にあります。事務室の事務職員が扉を開けると、「うわー」と歓声が上がりました。水やアルファ米、乾パンが入っている段ボール箱が、天井までたくさん積んでありました。数種類のロープもありました。



見学の後、子供たちは事務職員に質問をしました。

「ライターや燃やす物とか、米を炊くための物もありますか？」



「水を入れて混ぜれば食べられるご飯です」「へえー」

「あれだけでは、全員分には足りないと思うけど、どうするのですか？」

「市役所から支援物資が届くまでの繋ぎの分として計算して、置いています」

防災倉庫の中をほんの少しの間見ただけで、「あれ？」という疑問をたくさん持っている子供たちに感心しました。まだまだ学びは続きます。

